

分野：⑬SDGs

(生物と地球環境)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象 朝日東小学校6年生 (50人)

所要時間 2時間

場所 教室

実施時期 令和3年2月25日

概要

SDGsについて
ボルネオと日本との関係（森林伐採・パームヤシ油など）

プログラムの
ねらい

SDGsの狙い
世界の地域と、日本人は、つながっていることを知る。
そして、できる活動を考えて、行動する。

プログラムの内容

1. 導入

⑬SDGsのことについて、大まかに知る。
ラオスの子どもの話（貧困・飢餓・教育など）

2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象

パームヤシ畑・

私たちとの関係 木を輸入（オリンピック関連・
コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が
入っていること。植物油脂としか書かれていない）
私が、していること

ラオスに、文具を届ける活動

ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。



受講者の反応

パームヤシと日本とのつながりを知って、びっくりした。自分たちの生活が、オランウータンの住むところを無くしているなんて、ショックです。

擬態をする虫や動物（ヘビまで）が、飛ぶことを選んだのが驚いた。